

胃癌に対する幽門保存胃切除のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター外科では、上記の病気で受診された方の診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容(実施計画書・関連資料等)について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

幽門保存胃切除術における消化管を開放しない吻合法の妥当性と有用性の検討

【研究の背景と目的】

近年、胃癌の手術において術後合併症である腹腔内感染を起こすと、長期的な予後が著しく悪くなることが分かってきました。当科では、幽門保存胃切除術において、消化管を全く開放しない再建法を行っています。消化管を開放しないことにより腹腔内感染を低減させることができるか、術後合併症率や長期的な予後、術後の生活の質への影響があるかを、通常診療で得られたデータを観察することによって検証します。

【対象となる方】

2018年12月から2025年3月までの期間で、胃癌に対して幽門保存胃切除を受けた方。

【使用する検体・診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査)、周術期データ(手術時間、出血量、合併症率、使用器械数等)、術後 QOL アンケート(術後の身体状況などに関する事など、術後2年まで診察時に実施したもの)

【研究期間と参加予定人数】

本研究は2027年3月31日まで実施され、当院で60名の方に御協力頂く予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本外科学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 三ツ井 崇司（講師）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 担当者:三ツ井 崇司(講師)

電話番号:048-965-1130(医局直通) Fax 番号:048-965-1130

受付時間:平日午前9時から午後5時まで

以上